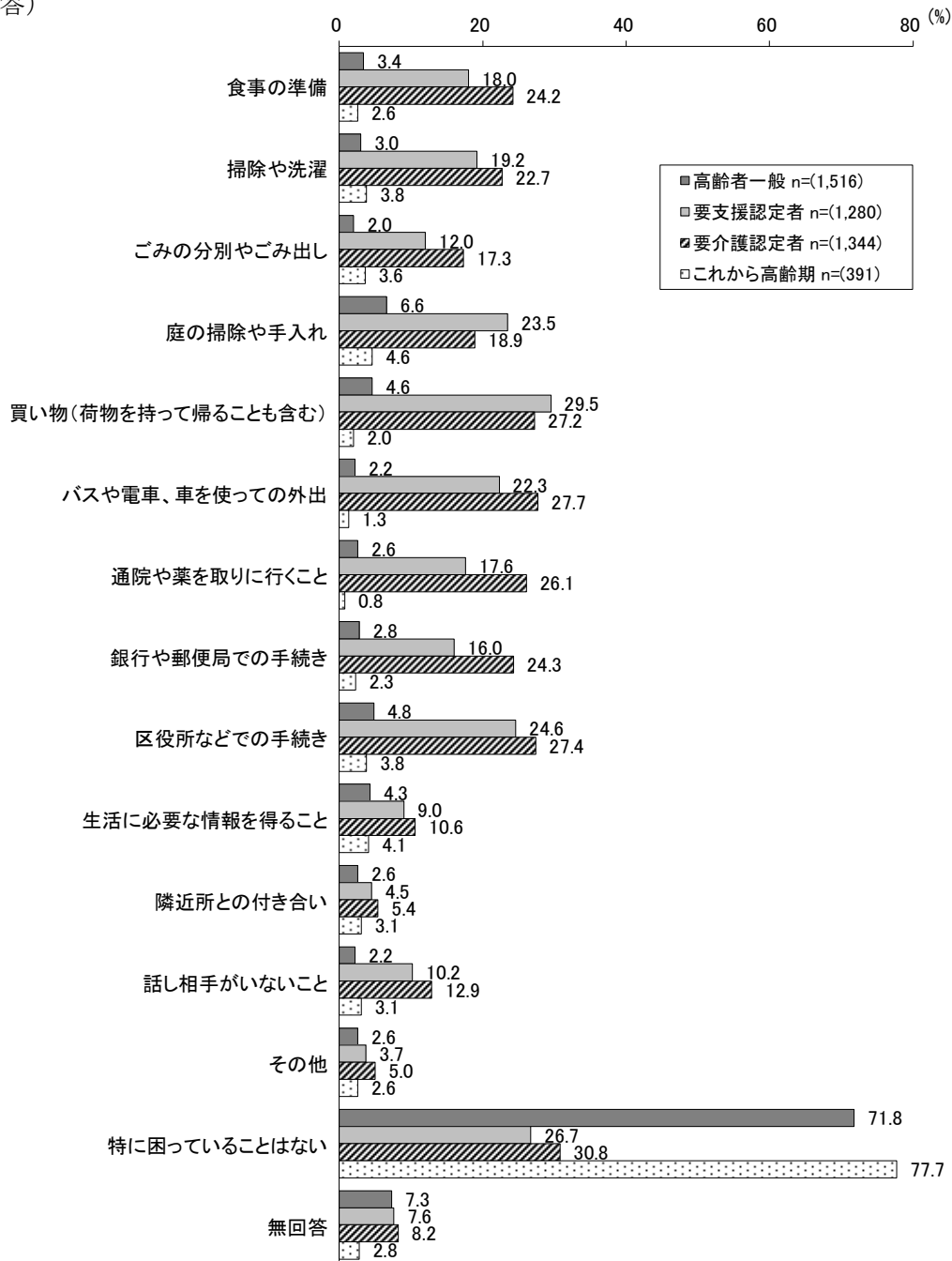


## 9. 日常生活の状況

### (1) 日常生活の中での困りごと

- 高齢者一般、これから高齢期では、「特に困っていることはない」が最も高く、それぞれ71.8%、77.7%となっている。
- 要支援認定者では、「買い物（荷物を持って帰ることも含む）」(29.5%)、「区役所などでの手続き」(24.6%)、「庭の掃除や手入れ」(23.5%)が上位に挙がっている。「特に困っていることはない」は26.7%となっている。
- 要介護認定者では、「特に困っていることはない」(30.8%)が最も高くなっている。「バスや電車、車を使っての外出」(27.7%)、「区役所などでの手続き」(27.4%)、「買い物（荷物を持って帰ることも含む）」(27.2%)が上位に挙がっている。

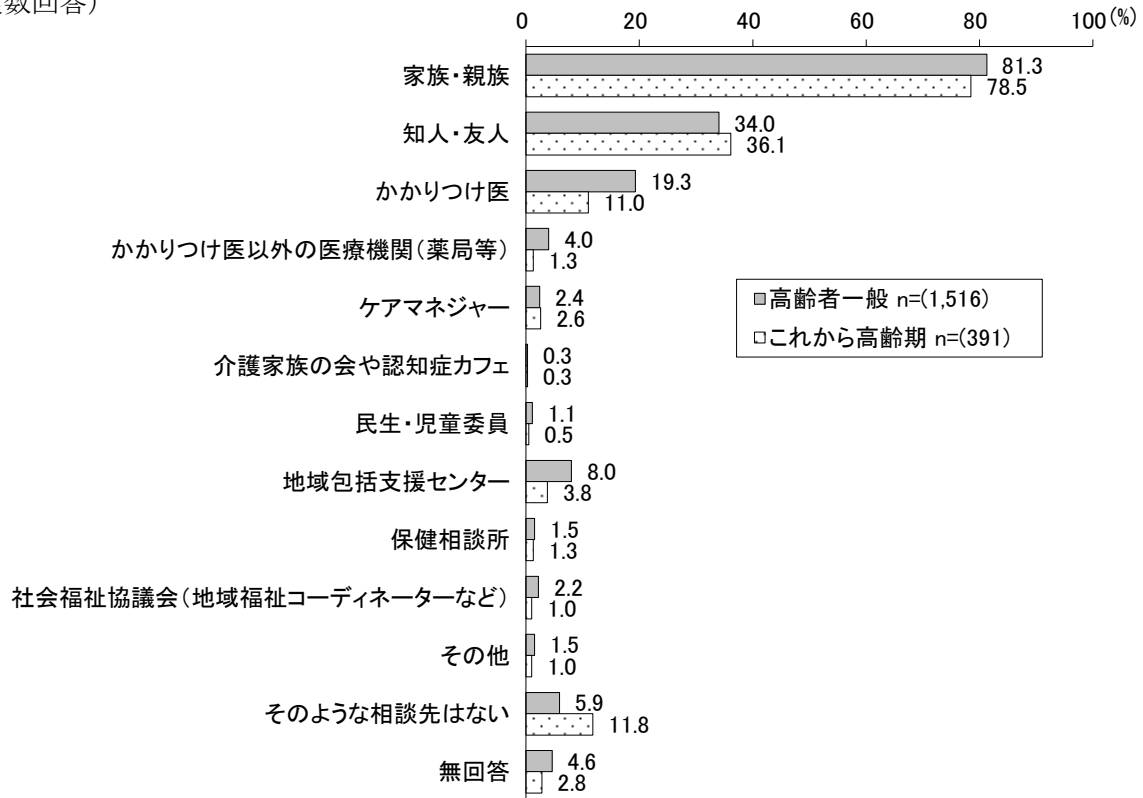
(複数回答)



## (2) 日常生活で困った場合の相談先

○いずれの調査でも「家族・親族」が8割前後と最も高く、次いで「知人・友人」となっている。

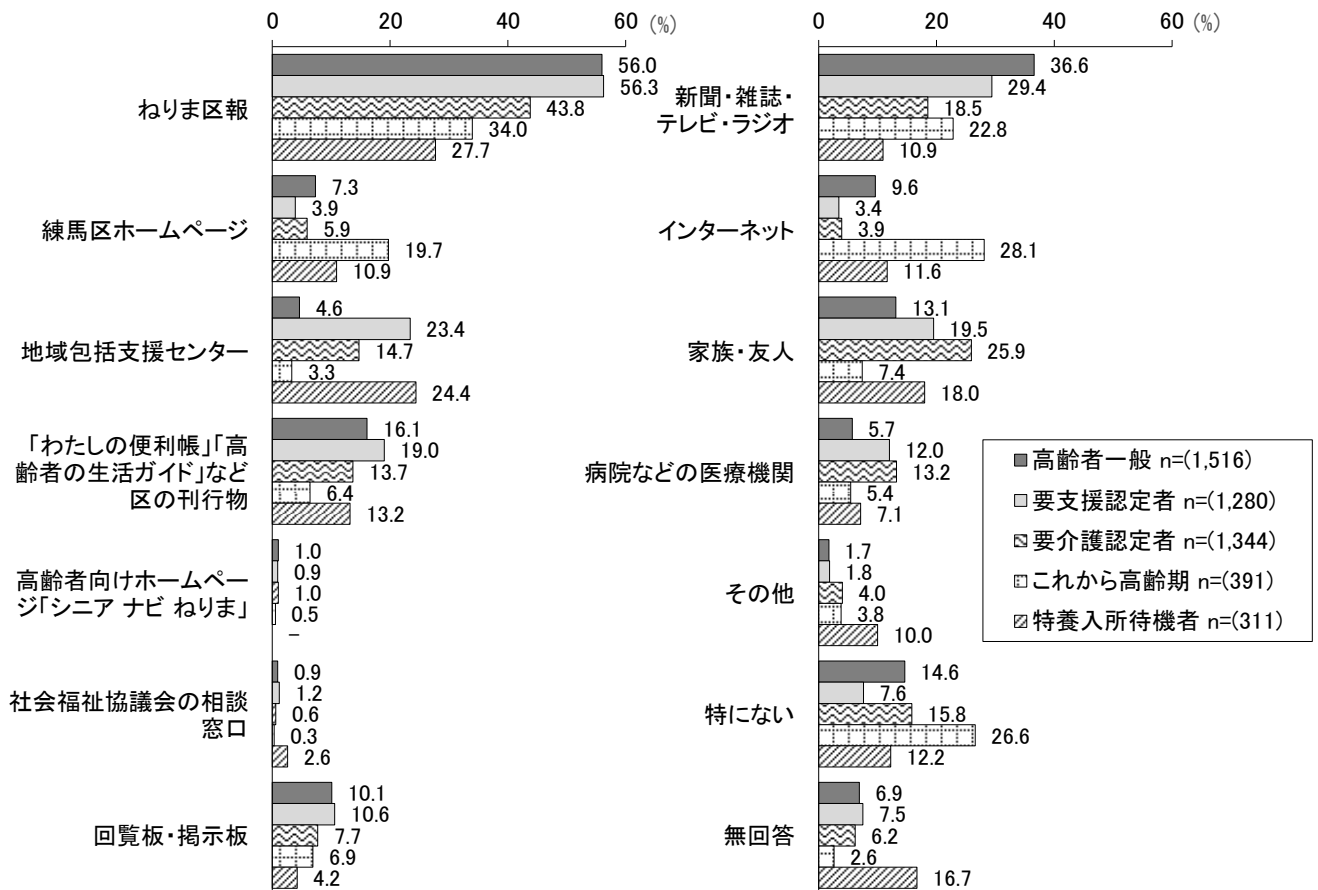
(複数回答)



### (3) 保健福祉や介護保険に関する情報の入手方法

- 高齢者一般では、「ねりま区報」(56.0%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(36.6%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「ねりま区報」(56.3%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(29.4%)、「地域包括支援センター」(23.4%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「ねりま区報」(43.8%)が最も高く、次いで「家族・友人」(25.9%)、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(18.5%)の順となっている。
- これから高齢期では、「ねりま区報」(34.0%)が最も高く、次いで「インターネット」(28.1%)、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(22.8%)、「練馬区ホームページ」(19.7%)の順となっている。「特にない」は26.6%となっている。
- 特養入所待機者では、「ねりま区報」(27.7%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(24.4%)の順となっている。

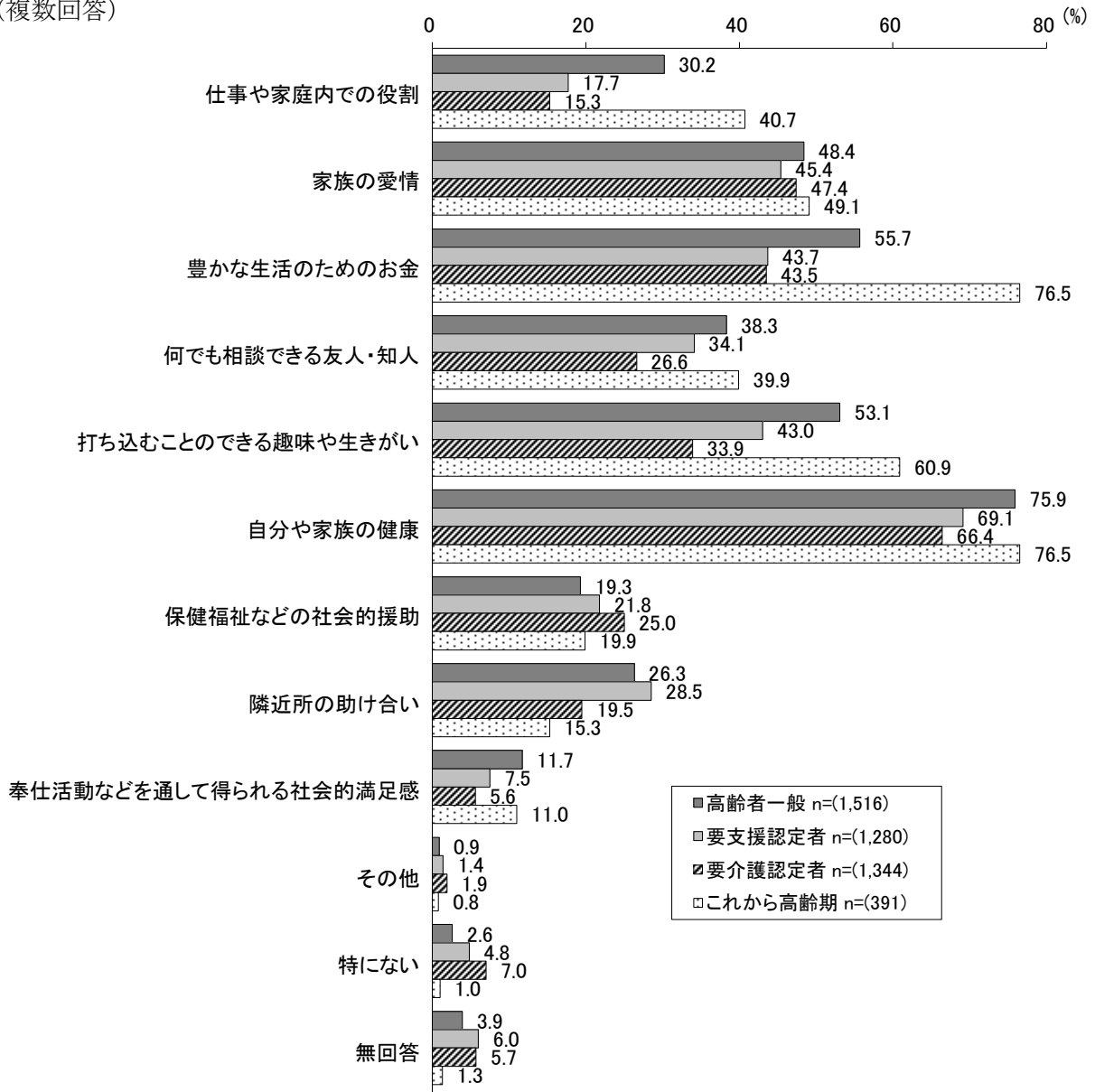
(○は3つまで)



#### (4) 老後を楽しく生きていくために必要なもの

- 高齢者一般では、「自分や家族の健康」(75.9%)が最も高く、次いで「豊かな生活のためのお金」(55.7%)、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」(53.1%)、「家族の愛情」(48.4%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「自分や家族の健康」(69.1%)が最も高く、次いで「家族の愛情」(45.4%)、「豊かな生活のためのお金」(43.7%)、「打ち込むことのできる趣味や生きがい」(43.0%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「自分や家族の健康」(66.4%)が最も高く、次いで「家族の愛情」(47.4%)、「豊かな生活のためのお金」(43.5%)の順となっている。
- これから高齢期では、「自分や家族の健康」、「豊かな生活のためのお金」がそれぞれ76.5%と最も高く、次いで「打ち込むことのできる趣味や生きがい」(60.9%)の順となっている。

(複数回答)



〔経年比較 / 高齢者一般〕

○令和4年度の調査結果は、過去の調査結果と同様に「自分や家族の健康」が最も高く、令和元年度の調査結果と比較すると10ポイント高くなっている。

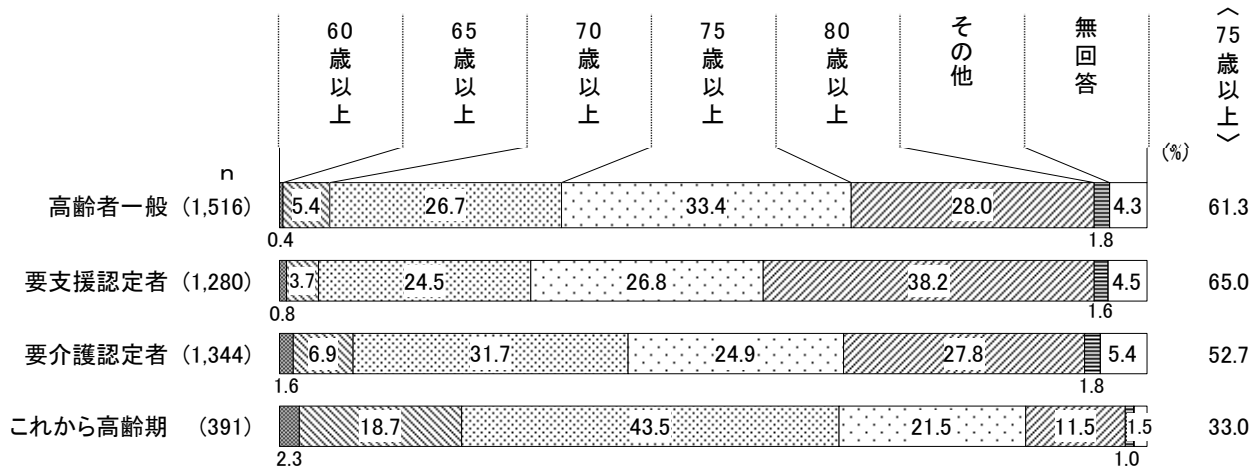
(複数回答)

	n	仕事や家庭内での役割	家族の愛情	豊かな生活のためのお金	何でも相談できる友人・知人	自分や家族の健康	打ち込むことのできる趣味や生きがい	保健福祉などの社会的援助	隣近所の助け合い	奉仕活動などを通して得られる社会的満足感	その他	特になし	無回答
令和4年度	1,516	30.2	48.4	55.7	38.3	75.9	53.1	19.3	26.3	11.7	0.9	2.6	3.9
令和元年度	1,447	31.9	46.4	47.5	34.6	65.9	47.5	11.3	23.1	9.0	0.6	2.6	12.4
平成28年度	1,434	29.4	49.6	49.0	35.8	64.3	48.7	15.0	22.0	9.2	1.2	1.7	11.4

### (5) 高齢者だと思う年齢

○ “75歳以上”（「75歳以上」と「80歳以上」の合計）は、高齢者一般で61.3%、要支援認定者で65.0%、要介護認定者で52.7%、これから高齢期で33.0%となっている。

○これから高齢期では、「70歳以上」が4割半ばと他の調査と比べて高くなっている。



#### [ 経年比較 / 高齢者一般 ]

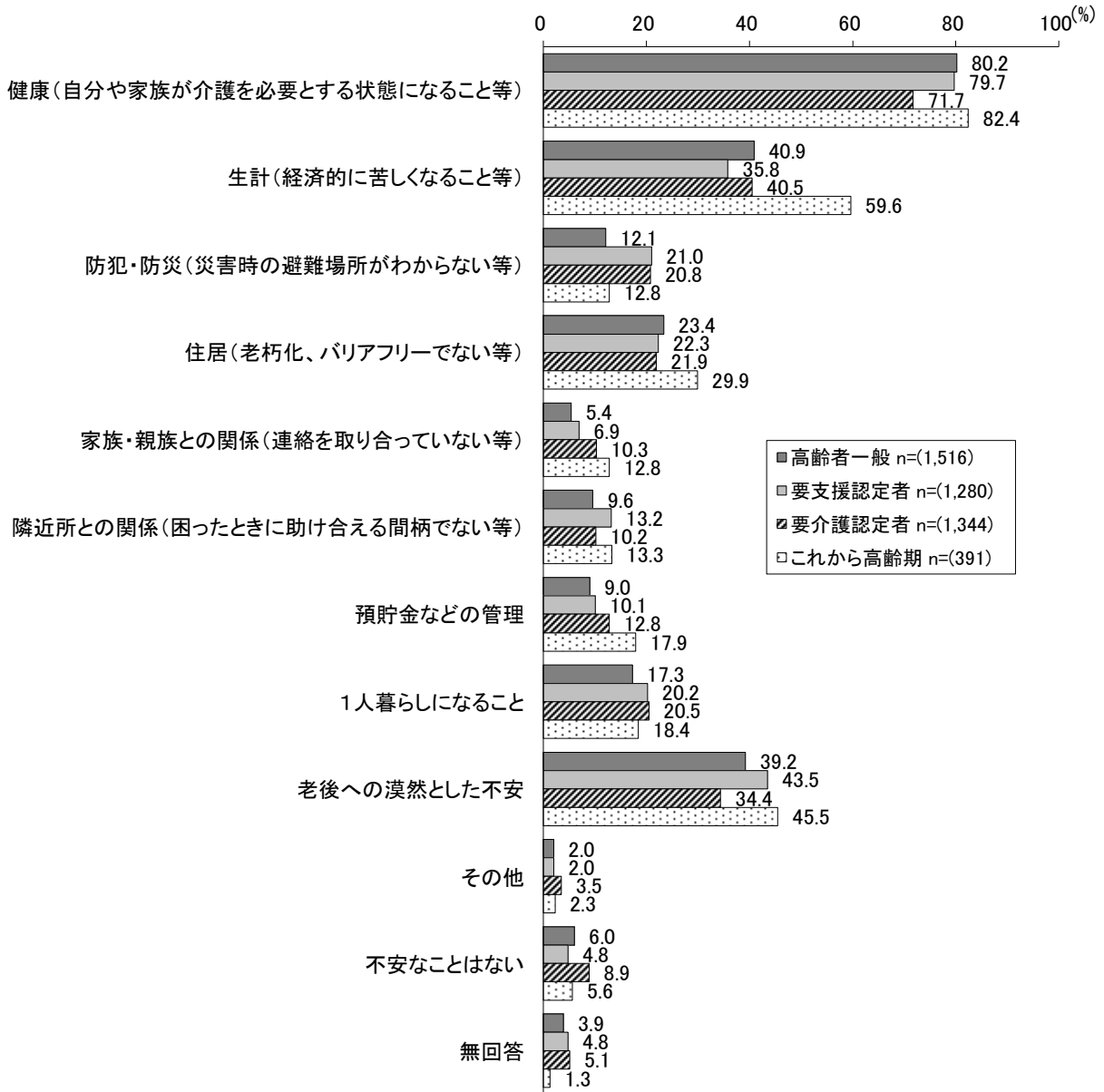
○令和元年度の調査結果と比較すると、令和4年度の調査結果は、“75歳以上”が5ポイント高くなっている。

	n	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	その他	無回答	75歳以上
令和4年度	1,516	0.4	5.4	26.7	33.4	28.0	1.8	4.3	61.3
令和元年度	1,447	0.7	3.9	24.4	31.9	24.3	1.4	13.4	56.3
平成28年度	1,494	0.3	3.9	30.6	29.9	22.3	1.6	11.3	52.2

## (6) 将来の不安

○いずれの調査でも「健康（自分や家族が介護を必要とする状態になること等）」が最も高く、7割超から8割超となっている。また、「生計（経済的に苦しくなること等）」、「老後への漠然とした不安」が上位に挙がっている。

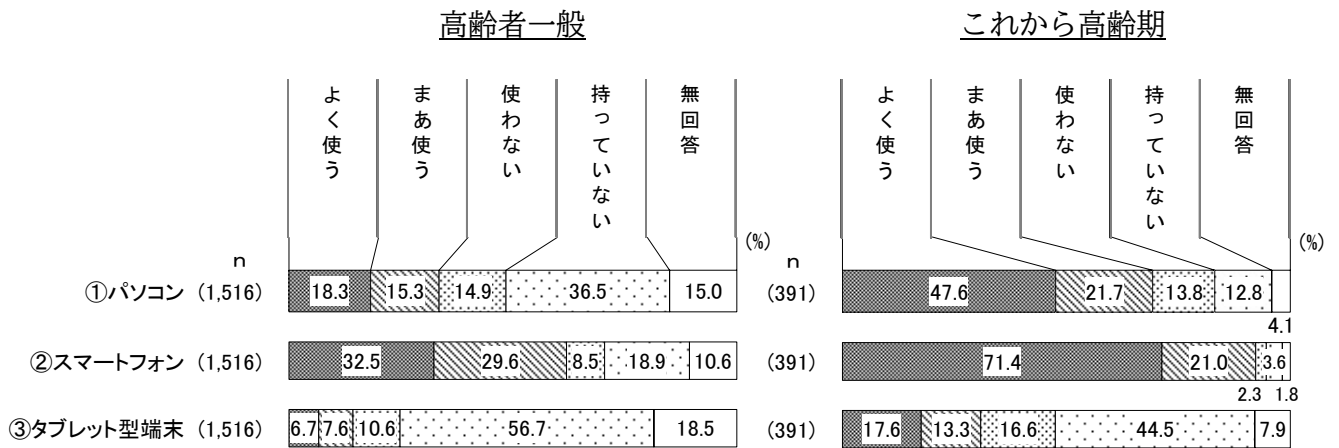
(複数回答)



## (7) スマートフォン等の情報通信機器の使用状況

### ①使用状況

○スマートフォンを“使う”（「よく使う」と「まあ使う」の合計）は、高齢者一般で6割超、これから高齢期で9割超となっている。



### [ 年代別 / 高齢者一般 ]

○年代別にみると、『前期高齢者』は、いずれの情報通信機器でも、“使う”が『後期高齢者』と比べて高くなっている。

		n	よく使う (%)	まあ使う (%)	使わない (%)	持っていない (%)	無回答 (%)	使う (%)
①パソコン	高齢者一般	1,516	18.3	15.3	14.9	36.5	15.0	33.6
	前期高齢者(65-74歳)	643	27.7	19.1	17.6	25.2	10.4	46.8
	後期高齢者(75歳以上)	850	11.4	12.6	12.7	45.1	18.2	24.0
②スマートフォン	高齢者一般	1,516	32.5	29.6	8.5	18.9	10.6	62.1
	前期高齢者(65-74歳)	643	47.4	29.2	5.3	11.2	6.8	76.7
	後期高齢者(75歳以上)	850	21.6	30.1	10.7	24.5	13.1	51.8
③タブレット型端末	高齢者一般	1,516	6.7	7.6	10.6	56.7	18.5	14.3
	前期高齢者(65-74歳)	643	10.6	11.2	13.7	52.1	12.4	21.8
	後期高齢者(75歳以上)	850	3.9	4.9	8.2	60.1	22.8	8.8



## [ 経年比較 / 高齢者一般（スマートフォンの使用状況） ]

○令和元年度の調査結果と比較すると、令和4年度の調査結果は、“使う”が23.3ポイント高くなっている。

	n	よく使う	まあ使う	使わない	な持っていない	無回答	使う
令和4年度	1,516	32.5	29.6	8.5	18.9	10.6	62.1
令和元年度	1,447	21.6	17.2	39.7	-	21.5	38.8

※ 選択肢「持っていない」は、令和4年度調査で設けた

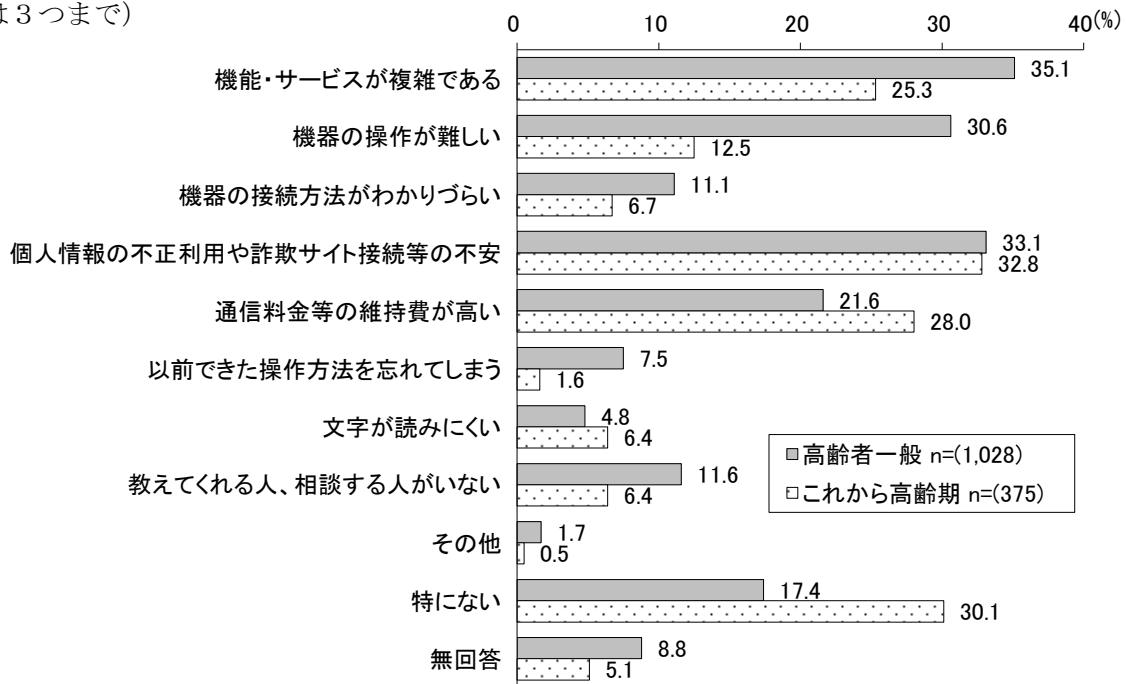
### ②情報通信機器の使用にあたっての困りごと

○いずれかの情報通信機器を“使う”と回答した人で、“何らかの困りごとがある”（「特にない」と無回答を除く）と回答した人は、高齢者一般で7割半ば、これから高齢期で6割半ばとなっている。

○高齢者一般では、「機能・サービスが複雑である」（35.1%）が最も高く、次いで「個人情報の不正利用や詐欺サイト接続等の不安」（33.1%）、「機器の操作が難しい」（30.6%）の順となっている。

○これから高齢期では、「個人情報の不正利用や詐欺サイト接続等の不安」（32.8%）が最も高くなっている。また、「特にない」が30.1%となっている。

（○は3つまで）



[ 性・年代別 / 高齢者一般 ]

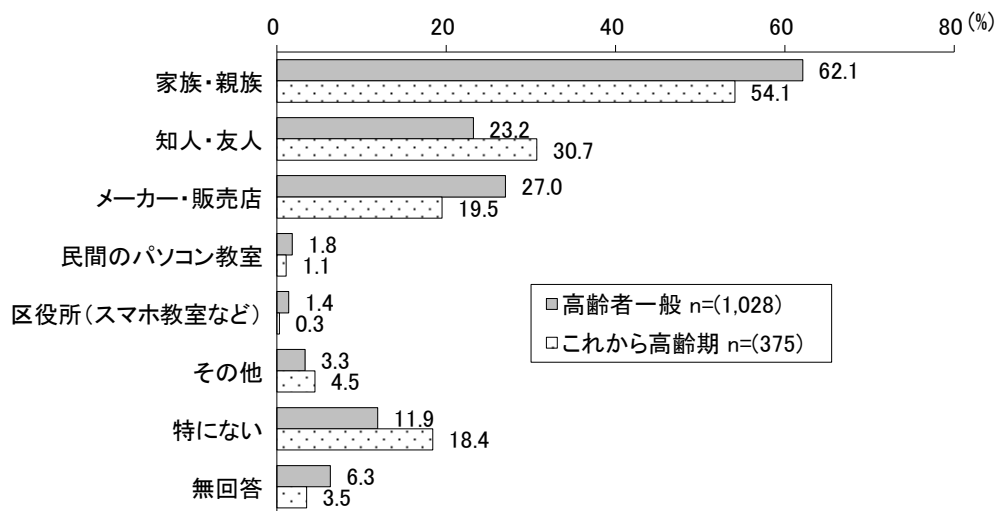
- 性・年代別にみると、『男性／前期高齢者』は、「特にない」が全体と比べて高くなっている。
- 『男性／後期高齢者』は、「教えてくれる人、相談する人がいない」が全体と比べて高くなっている。
- 『女性／前期高齢者』は、「個人情報の不正利用や詐欺サイト接続等の不安」が全体と比べて高くなっている。
- 『女性／後期高齢者』は、「機器の操作が難しい」が全体と比べて高くなっている。

	n	機能・サービスが複雑である	機器の操作が難しい	機器の接続方法がわかりづらい	個人情報の不正利用や詐欺	通信料金等の維持費が高い	以前でできた操作方法を忘れてしまふ	文字が読みにくい	教えてくれる人、相談する人がいない	その他	特にない	(%) 無回答
高齢者一般	1,028	35.1	30.6	11.1	33.1	21.6	7.5	4.8	11.6	1.7	17.4	8.8
男性／前期高齢者	250	30.0	21.6	8.4	29.6	30.0	4.4	6.0	10.8	2.8	26.4	4.8
男性／後期高齢者	213	35.7	31.0	10.8	25.8	18.3	11.3	6.1	16.9	1.9	16.4	12.2
女性／前期高齢者	268	38.1	28.7	11.6	40.7	23.5	6.0	4.1	10.4	0.7	15.7	7.5
女性／後期高齢者	283	36.0	39.2	13.4	34.6	15.9	8.5	3.2	9.9	1.4	12.0	11.3

③情報通信機器の使用にあたっての相談先

- 高齢者一般、これから高齢期ともに「家族・親族」が最も高く、それぞれ62.1%、54.1%となっている。

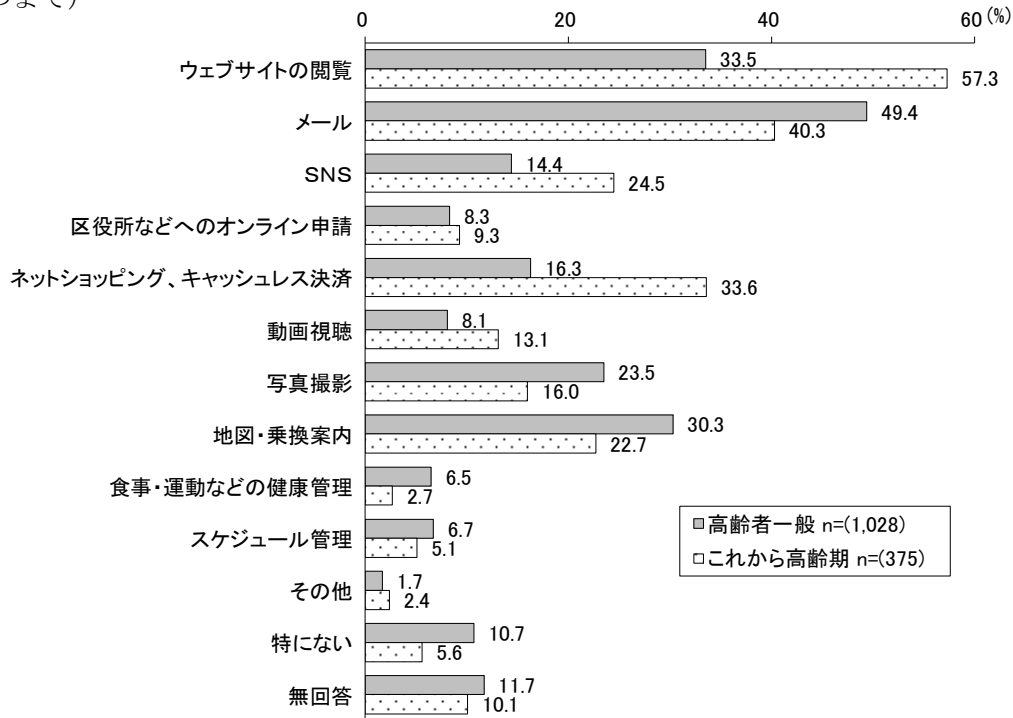
(○は3つまで)



## ④情報通信機器で使いたい機能

- 高齢者一般では、「メール」(49.4%)が最も高く、次いで「ウェブサイトの閲覧」(33.5%)、「地図・乗換案内」(30.3%)の順となっている。
- これから高齢期では、「ウェブサイトの閲覧」(57.3%)が最も高く、次いで「メール」(40.3%)、「ネットショッピング、キャッシュレス決済」(33.6%)の順となっている。

(○は3つまで)



## 〔性・年代別 / 高齢者一般〕

- 性・年代別にみると、『前期高齢者』は、「ウェブサイトの閲覧」が『後期高齢者』と比べて高くなっている。
- 『女性』は、「写真撮影」が『男性』と比べて高くなっている。
- 『女性／前期高齢者』は、「地図・乗換案内」が全体と比べて高くなっている。

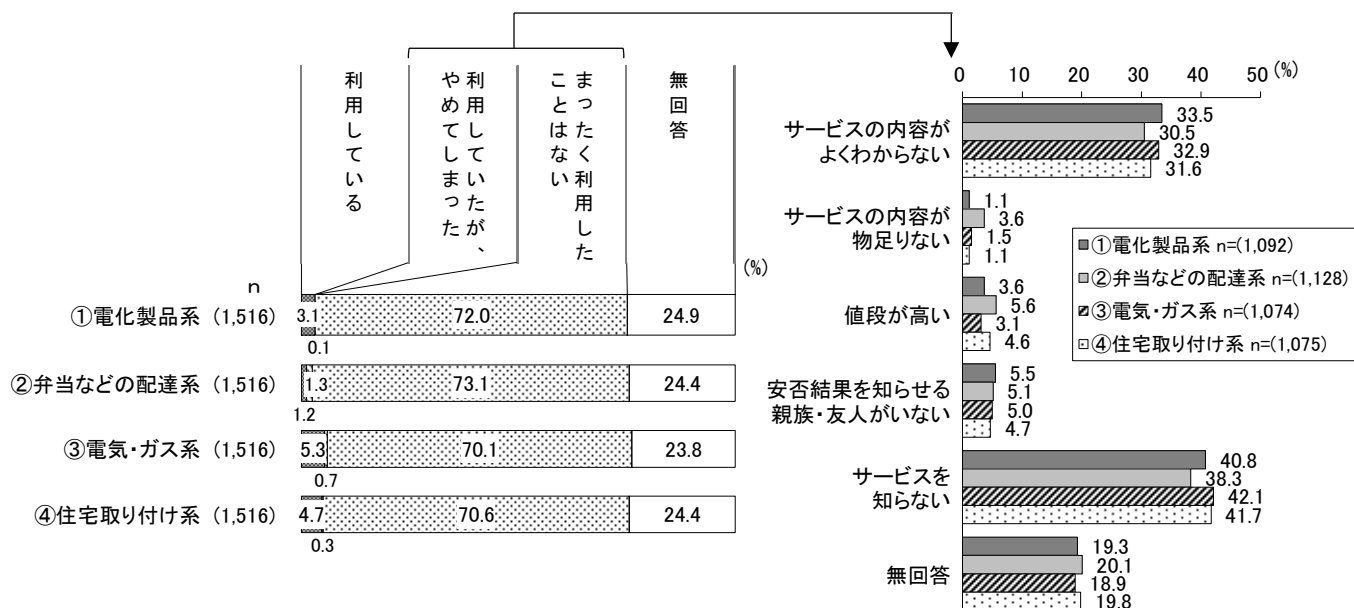
	n	ウェブサイトの閲覧	メール	SNS	区役所などへのオンライン申請	ネットショッピング、キャッシュレス決済	動画視聴	写真撮影	地図・乗換案内	食事・運動などの健康管理	スケジュール管理	その他	特にない	無回答
高齢者一般	1,028	33.5	49.4	14.4	8.3	16.3	8.1	23.5	30.3	6.5	6.7	1.7	10.7	11.7
男性／前期高齢者	250	54.4	48.0	17.2	10.4	21.2	9.2	12.4	25.6	2.4	8.8	2.0	12.0	7.6
男性／後期高齢者	213	33.8	48.4	15.0	7.5	18.8	8.9	16.4	22.1	5.2	7.0	1.9	12.7	11.7
女性／前期高齢者	268	33.2	48.9	14.2	7.1	16.0	7.8	32.5	42.9	7.1	6.0	1.9	6.7	10.8
女性／後期高齢者	283	15.9	52.3	11.3	8.1	11.0	6.7	31.4	28.3	10.2	5.3	1.1	11.7	15.5

### ⑤見守りICTサービスの利用状況と利用していない理由

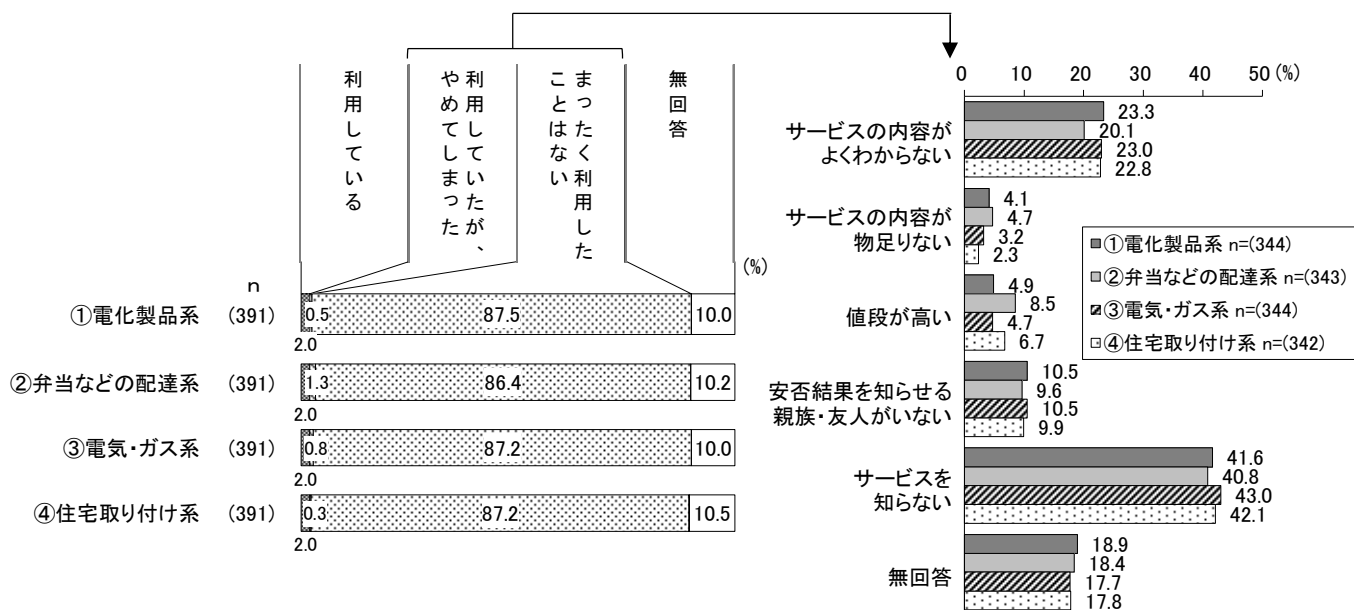
○いずれの調査でも“利用していない”（「まったく利用したことはない」と「利用していたが、やめてしまった」の合計）の割合が高く、7割超から9割近くとなっている。

○いずれの調査でも“利用していない”と回答した人の利用していない理由は、いずれの見守りICTサービスでも、「サービスを知らない」、「サービスの内容がよくわからない」が上位に挙がっている。

#### 高齢者一般



#### これから高齢期

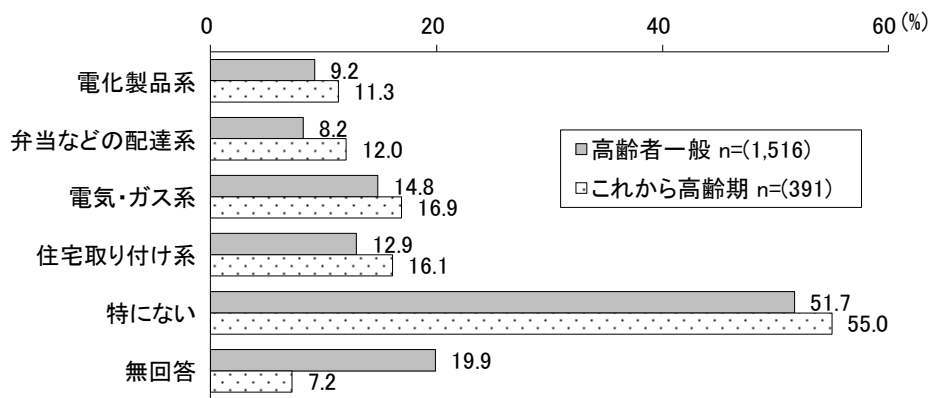


### ⑥利用してみたい見守りICTサービス

○いずれの調査でも「特にない」が最も高く、半数以上となっている。

○利用してみたい見守りICTサービスとしては、いずれの調査でも「電気・ガス系」、「住宅取り付け系」が上位に挙げられている。

(複数回答)



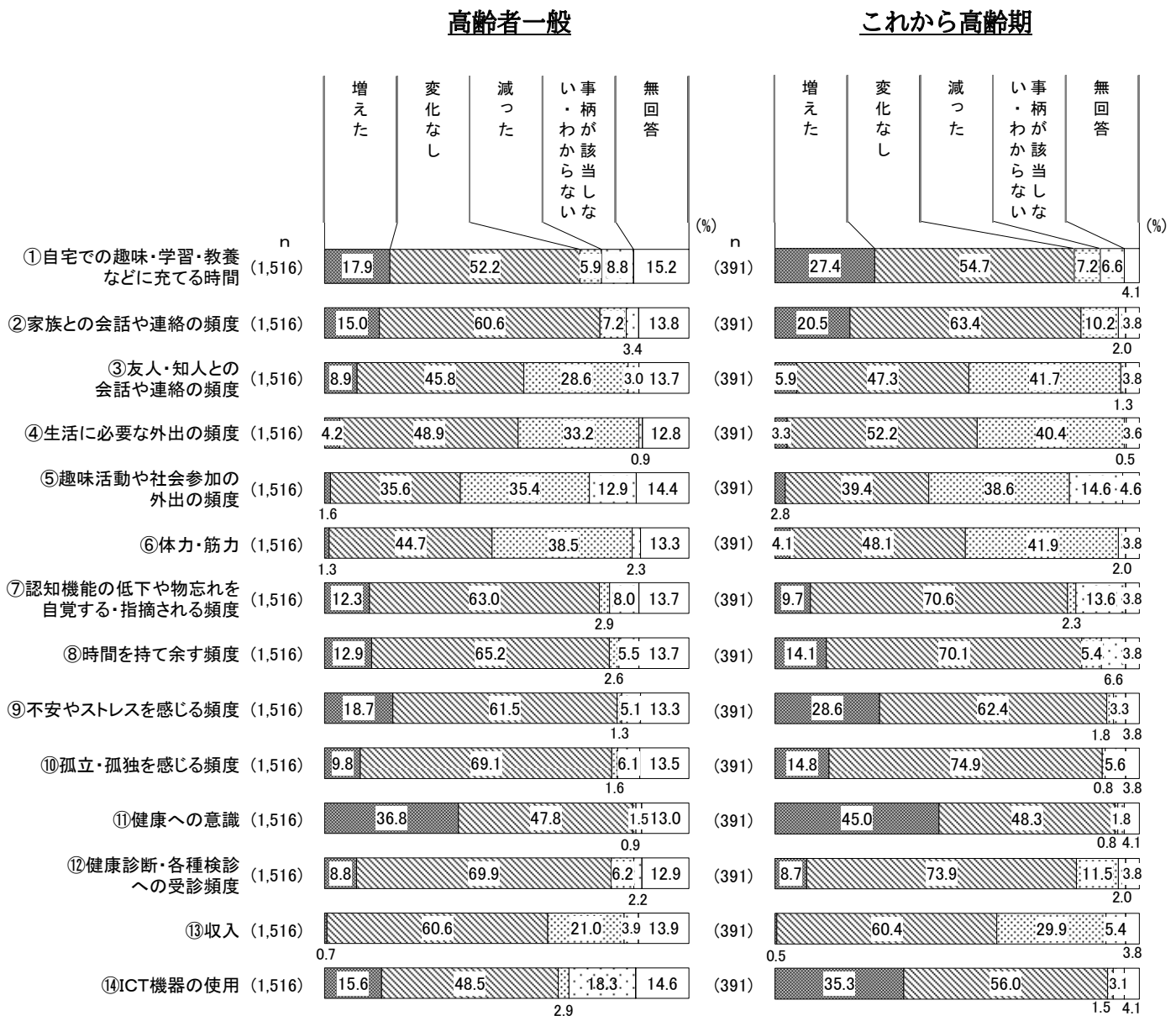
## (8) 新型コロナウイルス感染症拡大の暮らしへ影響

○感染症流行前と比べて、自身の暮らしにどのような影響があったのかを聞いた。

○いずれの調査でも「増えた」が「減った」よりも高い項目は、“⑦認知機能の低下や物忘れを自覚する・指摘される頻度”、“⑧時間を持て余す頻度”、“⑨不安やストレスを感じる頻度”、“⑩孤立・孤独を感じる頻度”、“⑪健康への意識”となっている。特に、“⑪健康への意識”は、「増えた」が「減った」よりも30ポイント以上高くなっている。

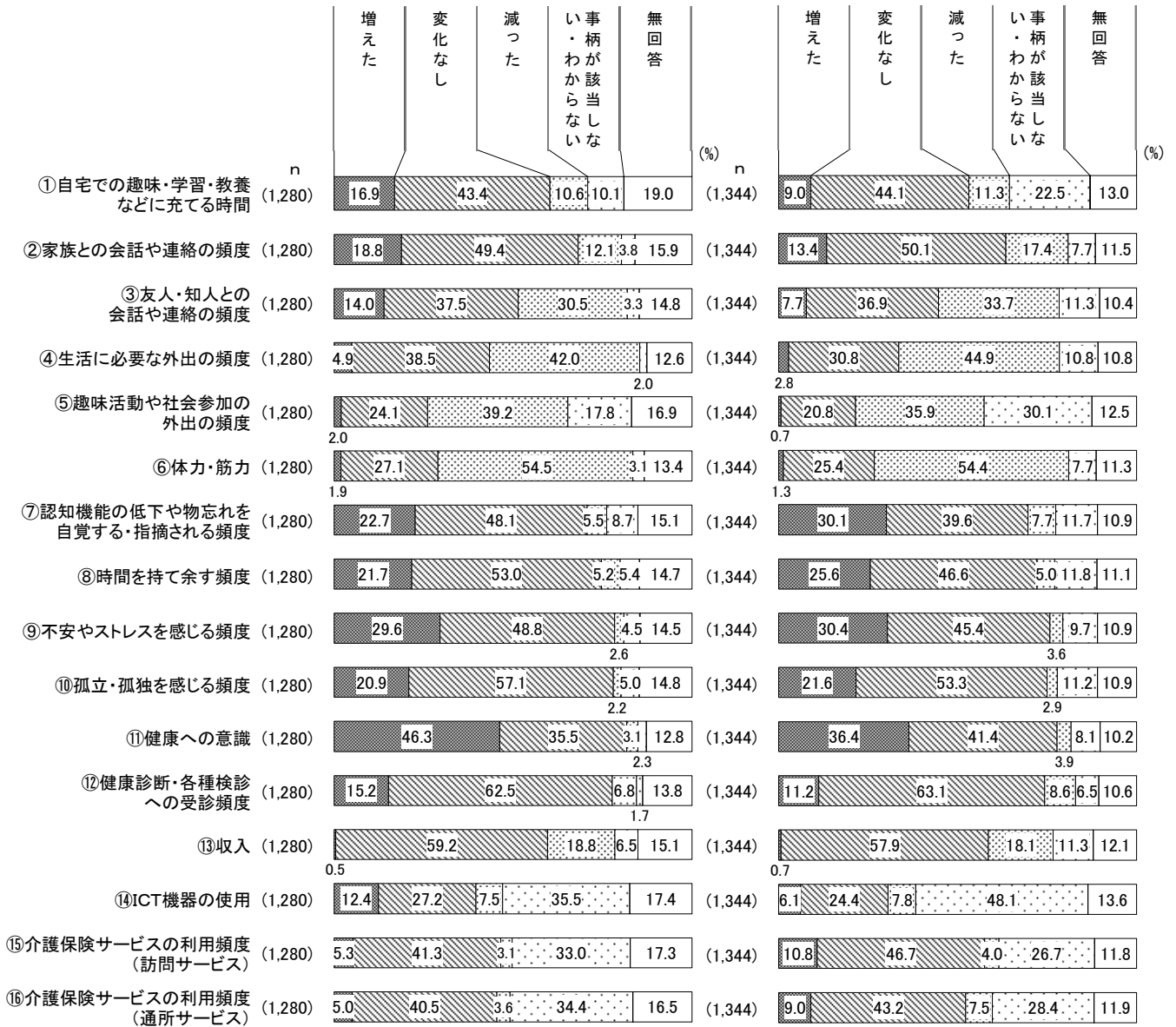
○いずれの調査でも「減った」が「増えた」よりも高い項目は、“③友人・知人との会話や連絡の頻度”、“④生活に必要な外出の頻度”、“⑤趣味活動や社会参加の外出の頻度”、“⑥体力・筋力”、“⑬収入”となっている。特に、“⑤趣味活動や社会参加の外出の頻度”、“⑥体力・筋力”は、「減った」が「増えた」よりも30ポイント以上高くなっている。

○介護サービスの利用頻度は、“⑮訪問サービス”、“⑯通所サービス”ともに、「増えた」が「減った」よりも若干高くなっている。



## 要支援認定者

## 要介護認定者



### (9) 今後力を入れてほしい高齢者施策

- 高齢者一般では、「介護が必要にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(28.8%)、「健康管理・健康づくりへの支援」(25.1%)、「介護が必要な高齢者に対するサービスの充実」(22.7%)、「介護している家族への支援」(21.4%)が上位に挙がっている。
- 要支援認定者では、「健康管理・健康づくりへの支援」(26.6%)、「介護が必要にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(23.5%)が上位に挙がっている。
- 要介護認定者では、「介護が必要な高齢者に対するサービスの充実」(26.6%)、「介護している家族への支援」(26.0%)が上位に挙がっている。
- これから高齢期では、「介護している家族への支援」(32.5%)、「介護が必要な高齢者に対するサービスの充実」(25.3%)が上位に挙がっている。

(○は3つまで)

